



令和4年度

公益社団法人 日本補綴歯科学会

第5回 専門医研修会

テーマ：マクロとミクロの視点で捉える生体に調和した咬合

抄録集

日時：2023年1月22日（日）14：00～16：00

会場：WEB開催（Zoom Webinar）

主催 公益社団法人 日本補綴歯科学会

理事長 馬場一美

修練医・認定医・専門医制度委員会 委員長 河相安彦

学会事務局：

〒105-0014 東京都港区芝2-29-11 高浦ビル4階

TEL：03-6722-6090

運営事務局：株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ

〒950-0983 新潟市中央区神道寺1丁目6-14

令和4年度
公益社団法人 日本補綴歯科学会
第5回専門医研修会

抄録集

目 次

1. 専門医研修会参加の皆様へ	1
2. 専門医研修会タイムテーブル	5
3. 専門医研修会抄録	7

1. 専門医研修会参加の皆様へ

開催概要

開催方式：WEB 開催（ライブ配信＋オンデマンド配信）

日 時：ライブ 2023 年 1 月 22 日（日）14:00～16:00

オンデマンド 2023 年 1 月 24 日（火）～2 月 2 日（木）

（オンデマンドでの視聴は、単位は付与されません。）

単位について

4 単位（本年度中の専門医研修会への参加回数の制限はありませんが、年度内 8 単位を取得上限とします。）

【単位付与条件】

ライブ配信視聴の場合のみ単位付与します。

ライブ配信開始 5 分後以降の入室，終了予定時刻 10 分前以前の退室には単位を付与しません。

アクセスログで単位登録いたしますので，視聴中の通信環境にご留意ください。

後日のオンデマンド配信視聴は，参加費をお支払いいただければ何度でも可能ですが，単位は付与されません。

【日歯研修単位】

日本歯科医師会会員の方は，上記と同じ条件で研修単位を付与しますので，申し込みページに **日歯 IC カード番号（6 桁）** を記入して下さい。

【アンケート】

単位取得に必須ではありませんが，アンケートサイトのアドレスをご案内しますので，ご協力をよろしくお願いいたします。

参加登録

申し込みは、2段階となっております。管理の都合上、お手数をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

参加費のお支払い方法は、1) クレジットカード決済または2) 銀行振込の2通りとなります。

※登録されるメールアドレスについて

キャリアメール（docomo.ne.jp, ezweb.ne.jp, softbank.ne.jp 等）をお使いの場合、自動返信メールが届かない可能性がありますので、極力キャリアメール以外でのご登録をお願いいたします。

1) クレジットカードでお支払いされる場合

【研修会参加申込フォームはこちら】

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/63734fcc5b08523f18a9f91a

（業務委託先の Payvent システム（株式会社 Urbs 運営）に移動します）

<ご案内>

令和4年度は国内企業および他学会の運用実績をもとにセキュリティ対策を講じたシステムを採用いたしました。

プライバシーポリシー <https://payvent.net/privacy-policy/>

1. 研修会参加申込フォームにて、必要事項をご入力いただき、「送信をする」を押してください。
2. 入力されたメールアドレス宛に視聴登録用 URL を1月19日(木)にお送りいたします。視聴登録用 URL から「ウェビナー登録」の登録ページを開き、登録時と同じお名前とメールアドレス、補綴歯科学会会員番号をご入力ください。登録後、no-reply@zoom.us から参加用のメールが届きます。

2) 銀行振込でお支払いされる場合

【研修会参加申込フォームはこちら（銀行振込）】

<https://shinsen-mc.co.jp/jps2022/05/>

1. 参加申込フォームより、①～⑦の必要情報を明記の上、送信してください。
2. 登録されたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます。そちらのメールに、お振込み口座が記載されていますので、お申込後1週間以内を目途（最終期日1/19（木）正午）までに、参加費のお振込みをお願いいたします。

3. 参加費のお振込みをもちまして参加登録完了となります。

- ①ご所属先
- ②お名前（漢字）
- ③フリガナ
- ④電話番号
- ⑤メールアドレス
- ⑥補綴歯科学会番号
- ⑦日歯 IC カード番号（6桁） ※日本歯科医師会会員の方

参加・視聴方法

上記の2段階目の登録終了後に no-reply@zoom.us から届きましたメールからご参加ください。メール下段の「ウェビナーに参加」を押すか、URL をクリックしてください。
当日は30分前より入室可能です。

参加する皆様へ

1. 参加（ライブ聴講）方法は下記の通りとなりますのでご熟読ください。

1) 研修会参加申込フォームにて、必要事項をご入力いただき、「送信をする」を押してください。ご氏名は必ず「漢字」にて、補綴歯科学会会員番号も必須でご入力ください。

2) 運営事務局より1月19日（木）に入力されたメールアドレス宛に視聴登録用 URL をお送りいたします。視聴登録用 URL から「ウェビナー登録」の登録ページを開き、登録時と同じお名前とメールアドレスをご入力ください。登録後、no-reply@zoom.us から参加用のメールが届きます。

ブラウザ（ZOOM US からアクセスの場合）からのログイン情報（ID,PW）は1月19日（木）の URL 案内時にお送りします。

3) 専門医研修会は終了しますと、全員強制退出となります。

2. 使用ツールおよび登録のお願い

本専門医研修会は Zoom 会議システム（ウェビナー）を利用します。専門医研修会開催までに各自にて事前にお持ちの PC、タブレット、または携帯端末等へ Zoom アプリのインストールおよび事前登録の氏名とメールアドレスの入力をお願いいたします。

※アプリからご視聴の際は1月19日（木）に配信されるメール記載の ID , パスコードを

ご入力願います。

3. オンデマンド配信について

視聴期間：2023年1月24日（火）～2月2日（木）

1. **視聴用 URL は、運営事務局より1月24日（火）に参加登録者に一斉にEメールにて送信**されます。

2. なお、フリーメールや携帯キャリアのメールは迷惑メールフォルダへサーバーが自動振り分けする場合がありますので、**受信トレイ以外もご確認**頂きますようお願いいたします。

事務局・お問い合わせ

1 研修会について

公益社団法人日本補綴歯科学会事務局

〒105-0014

東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4階

TEL：03-6722-6090

hotetsu-gakkai01@hotmail.com

2 参加登録について

株式会社シンセンメディカルコミュニケーションズ内

〒950-0983 新潟市中央区神道寺 1丁目 6-14

TEL：025-278-7232 F AX：025-278-7285（平日9：00～17：00，土，日，祝日休み。）

E-mail：jps2022@shinsen-mc.co.jp

2. 専門医研修会タイムテーブル

14:00-14:50

【講演1】 オーラルリハビリテーションから生体に調和した咬合を考える

座長：鈴木 善貴 先生（中国・四国支部）

関根 秀志 先生（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：佐久間 重光 先生（東海支部）

14:50-15:40

【講演2】 機能的に最適な臼歯部の咬合接触を考える

座長：鈴木 善貴 先生（中国・四国支部）

関根 秀志 先生（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：田中 順子 先生（関西支部）

15:40-16:00

【質疑応答】

3. 専門医研修会抄録

専門医研修会 座長抄録

座長

鈴木 善貴（中国・四国支部）徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野

関根 秀志（修練医・認定医・専門医制度委員会）東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座

Chairpersons

Yoshitaka SUZUKI

Department of Stomatognathic Function and Occlusal Reconstruction, Graduate School of Biomedical Sciences, Tokushima University

Hideshi SEKINE

Department of Fixed Prosthodontics, Tokyo Dental College

ヒトが日常生活を送るうえで、咀嚼や嚥下などの機能運動に限らず、ブラキシズムなどのパラファンクションにおいても、咬合は重要な要素であり、それは補綴治療を行う場合にも要となるものである。咬合を考えるうえでは、マクロとミクロの視点から捉えることが重要である。前者は、顎関節や咀嚼筋活動に調和した咬合高径や咬頭嵌合位、滑走運動を行うためのガイド、あるいは発音や審美性など全歯列の咬合として大きく捉えるものである。後者は、食物の咬断・臼磨などの咀嚼能率や咬合力負荷のベクトルなど単歯の咬合として詳細に捉えるものである。

本研修会では、このようなマクロの視点から佐久間重光先生にデジタル顎運動測定装置の使用やオーラルリハビリテーションについてご講演いただく。そして、ミクロの視点から田中順子先生に咬合印象やFGPテクニックについてご講演いただく。

会員の皆様においては、補綴の専門家として、咬合について常に念頭に置いて治療を行われていると思うが、本研修会を通してもう一度咬合についてマクロとミクロの両方の視点から見つめなおす機会になれば幸いである。

トピックス

- オーラルリハビリテーション
- 咬合
- 顎運動

鈴木 善貴先生



徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野

略 歴

2007年 徳島大学歯学部歯学科卒業
2008年 徳島大学病院歯科医師臨床研修修了
2012年 徳島大学大学院口腔科学教育部口腔科学科 博士課程修了
徳島大学病院医員（歯科）
2014年 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部顎機能咬合再建学分野 助教
2015年 モントリオール大学歯学部 ポストドクトラルフェロー
モントリオールサクリカ病院睡眠医療先進研究センター 客員教授
2017年 徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野 助教
2018年 徳島大学病院歯科（かみあわせ補綴科）講師
現在に至る

所属学会など

日本補綴歯科学会 専門医・JPR Associate Editor, 中国・四国支部代議員
日本顎関節学会 診療ガイドライン作成委員・社会連携・広報委員
日本睡眠歯科学会 診療ガイドラインワーキンググループ委員
日本顎口腔機能学会 理事・編集担当幹事
日本口腔リハビリテーション学会 認定医
日本スポーツ協会 公認スポーツデンティスト

関根 秀志先生



東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座

略 歴

1997年 東京歯科大学 歯科補綴学第三講座（局部義歯学）講師
2003年 米国ワシントン州 ワシントン大学 Visiting Scholar
2004年 東京歯科大学 水道橋病院 口腔インプラント科 科長
2007年 東京歯科大学 口腔健康臨床科学講座 口腔インプラント学分野 准教授
2014年 奥羽大学歯学部 歯科補綴学講座 口腔インプラント学 教授
2020年 東京歯科大学 クラウンブリッジ補綴学講座 教授
現在に至る

所属学会など

日本補綴歯科学会 専門医・指導医
日本口腔インプラント学会 専門医・指導医

専門医研修会 講演1抄録

オーラルリハビリテーションから生体に調和した咬合を考える

演 者

佐久間 重光（東海支部）

愛知学院大学歯学部冠橋義歯・口腔インプラント学講座

Considering biologically harmonious occlusion from oral rehabilitation

Shigemitsu SAKUMA

Department of Fixed Prosthodontics and Oral Implantology, School of Dentistry, Aichi Gakuin University

歯周疾患が進行して臼歯部での咬合支持が崩壊した症例では、歯周病に対する治療だけを行っても患者の満足を得られる結果は望めない。同様に、重度の咬耗により臼歯部を中心として咬合支持が失われた症例では、咬合高径の低下や、咬合平面の不正から下顎位が不安定となり、補綴歯科治療の難易度は高くなる。

オーラルリハビリテーションは、このような多数歯が関与する顎口腔系の障害に対して、歯列全体に固定性補綴装置を適用することで咬合を再構築し、顎口腔系の形態・機能・審美性の回復を図る際に行われる治療法である。しかし、一口にオーラルリハビリテーションといっても、悪習癖の是正、炎症および力のコントロールを並行して行う必要のある症例がほとんどだと思ふ。

本研修会では、診査・診断、治療計画の立案、デジタル顎運動測定装置を用いた咬合採得とプロビジョナルレストレーションの作製について、オーラルリハビリテーションを行った症例を通して紹介させていただき、生体に調和した咬合についてマクロの視点からお話したい。

トピックス

- オーラルリハビリテーション
- デジタル顎運動測定
- 咬合

佐久間 重光先生



愛知学院大学歯学部冠橋義歯・口腔インプラント学講座

略 歴

- 1990年 愛知学院大学歯学部歯学科卒業
- 1994年 愛知学院大学大学院歯学研究科修了（歯科補綴学専攻）
- 1994年 愛知学院大学歯学部冠・橋義歯学講座 助手
- 1997年 愛知学院大学歯学部冠・橋義歯学講座 講師
- 2004年 愛知学院大学在外研究員（オーストラリア アデレード大学 分子生物医学部 ヒト運動制御研究所）
- 2022年 愛知学院大学歯学部冠橋義歯・口腔インプラント学講座 講師（講座名称変更）

現在に至る

所属学会など

- 日本補綴歯科学会 専門医・指導医・医療問題検討委員会委員・診療ガイドライン委員会・「CAD/CAM冠ガイドライン」システムティックレビューチームメンバー・日本補綴歯科学会本部代議員・東海支部代議員
- 日本顎関節学会 専門医・指導医・編集査読委員会委員・専門医等認定委員会委員・日本顎関節学会代議員・日本顎関節学会研修施設講座代表者

専門医研修会 講演2抄録

機能的に最適な臼歯部の咬合接触を考える

演 者

田中 順子 (関西支部)

大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座

Considering functional and optimal occlusal contact to the molar regions

Junko TANAKA

<English institution>

Department of Fixed Prosthodontics and Occlusion, Osaka Dental University

臼歯部の歯冠修復を行う場合、重要なことは「機能的に最適」な形態を付与することと考えられる。審美的な面も重要ではあるが、機能的で安定した顎位を回復できる形態が必要である。

しかし、どのように正確にクラウンを製作しても口腔内での調整は必要である。技工室で作業用模型から正確に製作されたクラウンでも、患者の口腔内で咬頭嵌合位を正しく再現することはできない。過去の報告から再現誤差は平均 191 μ m あるとされている。咀嚼や嚥下を遂行するために咬頭嵌合位は重要な顎位であり、上下顎の歯列が最も多くの部位で接触するため、ガタつかず、確実に下顎を固定することができる。

そこで、クラウンの咬合面に咬頭嵌合位を具現化する臨床テクニックとして、咬合印象法による歯冠補綴法がある。咬合印象法は支台歯と対合歯の印象ならびに咬合採得を同時に行え、一塊で咬合器装着が行えるため正確な咬合面形態の装置が製作できる。

また、咬頭嵌合位を正確に再現し、かつ偏心運動時の情報も咬合面製作時に反映させる方法として FGP テクニックがある。口腔内でワックスに記録した対合歯の機能運動経路を利用し、機能的に調和した装置の咬合面を製作する方法である。

本セミナーでは、ミクロの視点から咬合印象と FGP テクニックの術式や技工操作に関して説明する。金属による修復に対して利点が多い両方法ではあるが、デジタル機器を用いた昨今のクラウンブリッジ製作の流れにも対応できる点もあるので紹介したい。

トピックス

- 咬合印象
- FGP テクニック
- 咬頭嵌合位

田中 順子先生



大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座

略 歴

1993年 大阪歯科大学卒業

1999年 大阪歯科大学歯科補綴学第二講座助手

2000年 大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座助手（講座名変更）

2010年 大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座講師

2012年 大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座准教授

現在に至る

所属学会など

日本補綴歯科学会 代議員・専門医・指導医 編集委員会委員

日本口腔リハビリテーション学会 代議員 認定医・指導医

日本歯科医師会 雑誌編集委員会委員

— 本誌を複製される方に —

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、(社)日本複製権センターと包括複製許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複製権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の引用・転載・翻訳のような複製以外の許諾は、直接本会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

一般社団法人 学術著作権協会

FAX : 03-3475-5619 E-mail : info@jaacc.jp

ただし、アメリカ合衆国における複製については、次に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone : 978-750-8400 Fax : 978-646-8600

— 日補綴会誌への投稿方法 —

投稿希望の方は、下記の URL をご参照のうえ、

ご不明な点は学会事務局（電話：03-6722-6090）までお問合せください。

<http://www.hotetsu.com/t1.html>

日本補綴歯科学会 令和4年度第5回専門医研修会抄録集

令和5年1月22日発行

発行者 馬場 一美

編集 公益社団法人 日本補綴歯科学会

学会ホームページ /<http://www.hotetsu.com/>

〒105-0014 東京都港区芝2丁目29番11号

高浦ビル4階

公益社団法人 日本補綴歯科学会

電話 03(6722)6090